

(別紙4(2))

事業所名 グループホームやわらぎ

## 目標達成計画

作成日: 平成29年 2月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己評価番号	出来ていない点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成の段階での介護職員の参加が不十分。一番近くで関わる職員のより積極的な参加が課題。	アセスメントからモニタリングに至るまで、介護職員が積極的に参加できる。	アセスメントからモニタリングに至るまで、ケアマネだけで作成せず、介護職員の参加を得る方法を検討し、実践する。	12ヶ月
2	49	全体的に外出頻度が少ない状況。一人ひとりの希望をもっと引き出し、思いに沿った外出を増やしていくことが課題。	一人ひとりの希望を引き出し、思いに沿った外出の機会を増やす。(外出以外を希望される方の思いにも応えていく)	普段の会話から、一人ひとりの希望を引き出し、思いに沿った外出の機会を積極的に作る。外出以外の希望がある方の思いの把握にも努め、応えていく。	12ヶ月
3	54	・まだまだ持ってきて頂けたものが、限られている。 ・居室掃除が予定通りにできなかったり、整えやすい整理法への工夫が足りない。	居室を清潔感のある、馴染んだ設えに整えることができる。	・一人ひとりの居室を、馴染んだ設えに近づけていけるよう、自宅を訪問したり、家族への働きかけを行う。 ・定期的な居室の整理整頓、掃除を着実に実行する方法を検討し、実践する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。